

<ワークショップ>

『テレビCMから読み解くジェンダー』

CMは、限られた時間の中にたくさんのメッセージを盛り込んで作られています。そして社会や私たちのライフスタイルを映し出しているのがCMではないでしょうか？日々繰り返し流れるテレビCMはいちばん身近なメディアとして、無意識の内にさまざまな情報を刷り込んでいきます。

分科会では、テレビCMにスポットを当て、ジェンダーの視点でCMに潜む問題点を考えます。まず、CMの制作・流通と新しいメディア発信について学びます。さらに、さまざまなCMをとあして参加者自らがメディア・リテラシー（情報を読み解く力）を身につけ、情報と上手に付き合う方法を学ぶ中で、より良い情報発信のあり方を模索します。



日時 … 10月31日(土) 9:00~11:30

会場 … 堺第一生命館・会議室

■ ファシリテーター



吉田清彦 (コマーシャルの中の男女役割を問い直す会世話人)

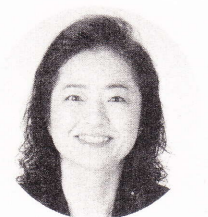
よしだ・きよひこ 1944年生まれ。調理師。プランナー。1984年「コマーシャルの中の男女役割を問い直す会」を結成。女性センターなどが主催する講座で、情報、メディア、教育、暮らし、男の生き方など多彩なテーマで講師を務めるかたわら、さまざまなネットワーク活動にかかわる。1995年頃からは男性講座や男性料理教室の講師を依頼されることが多くなり、ここ数年は、団塊の世代の男性を対象にした講座の企画・立案にかかわることが多く、講座企画やチラシ作成の講師としても活躍中。2004年から2006年まで兵庫県男女共同参画審議会委員。著書は、『コマーシャルの中の男女役割を問い直す会 会報』第1号～第10号(自費出版)、『メディア・リテラシーとジェンダー』(共著、(財)大阪府男女協働社会づくり財団)、『メディアがつくるジェンダー—日独の男女・家庭像を読み解く』(共著、新曜社)、『食とジェンダー』(共著、ドメス出版)、『大阪居酒屋ガイド』(神戸新聞総合出版センター)など。

■ コメンテーター



草川 衛 (社団法人ACジャパン専務理事)

くさかわ・まもる 1947年兵庫県生まれ。1971年東京大学文学部心理学科卒業、同年(株)電通入社。コピーライター、CMプランナーを経て1990年クリエイティブディレクターに。担当クライアントは、パナソニック、資生堂、レナウン、月桂冠など。受賞歴は広告電通賞、ACC・CMフェスティバルACC賞、カンヌ国際広告フェスティバル金・銀・銅賞、CLIO賞、NY・ADC賞など。2005年クリエイティブマネジメント局長から(株)電通テック取締役クリエイティブ本部長に。2006年(社)公共公告機構(現ACジャパン)専務理事。



谷岡理香 (東海大学文学部広報メディア学科准教授)

たにおか・りか テレビ高知アナウンサーを経て1986年フリーとなりNHKを中心に主にニュース番組を担当。2003年より現職。大学では「CM制作」「広告の表現」の授業で、男女共同参画社会構築に広告が果たす役割、ジェンダーの視座からのCM読みときなどを行う。また、マス・メディア、オルタナティブ・メディア、映画等、表現における女性の活躍の場を増やすための様々な支援活動を行っている。女性学修士。「メディアにおける女性の地位国際調査・日本委員会」共同代表。日本女性放送者懇談会1998年度会長。国際ジェンダー学会会員。著書は、『キーワードで読み解く現代のジャーナリズム』(共著、大月書店)など。